

去年の10月より月一度、相談室すきっぷのピアサポーターと通所利用者・入所者との交流会が行われています。

ピアサポーターは障がい当事者として、ご自分の障がいや体験をもとに、障がいのある方や関係者などの希望に応じたサポートを行っています。

山の手に来てくれているのは、菊池信さんと畠山夏生さん。この交流会の愛称を決めるところからスタートし「Pトーク山の手」(P=午後)となりました。今までに「障がい者のいい表現の仕方はないか?」「冬の外出時のタクシー利用について」「年末年始の過ごし方」などが話し合われています。

回を重ねるごとに参加者の発言も増えてきています。これからどのような展開になっていくのか、楽しみです。



## STAFF MESSAGE

令和7年度、ケア課主任に着任いたしました、尾形と申します。これまで当施設で培った経験を活かし、皆様が安心して、笑顔あふれる毎日をご過ごしていただけるよう、職員一同誠心誠意サポートしてまいります。

スタッフ全員が笑顔で、かつ、質の高いケアを提供できる職場作りにも尽力いたしますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

ケア課 主任  
尾形 絵理香



一緒に働くスタッフを募集しています!

正職員

◆介護福祉士

◇看護師または准看護師

パート職員

◆介護福祉士

◇初任者研修または実務者研修

◇看護師または准看護師

◆理学療法士または作業療法士

◇送迎ドライバー



詳細はホームページまで!

ケアセンター山の手  
総務課 尾崎まで  
(011-642-1152)

施設見学、条件を聞いてみたいなど、お気軽にお問い合わせください!



# 自立365号



発行日：令和8年2月  
発行・編集：社会福祉法人 禎心会  
ケアセンター山の手 機関誌編集委員会  
〒063-0009 札幌市西区山の手433番地1  
☎011-642-1152 FAX：011-642-1278

## 「万が一」に備えて～窒息・BLS研修～

ケアセンター山の手では、災害、感染、事故などの「万が一」に対応できるよう、日ごろから「訓練」を積極的に進めています。

昨年未実施した「窒息時の対応」とBLS(一次救命措置)訓練について、3階ケア課 古山和課長のレポートをどうぞ。

11月11・19日、12月3日に窒息時の対応について研修を行いました。

札幌禎心会病院より、岡本征仁救急統括管理部長と救急救命士の方が来所され、入所・通所・リハビリスタッフに参加しました。

座学にて窒息について学び、その後職員同士がペアになり、窒息時に異物を除去するための手技(背部叩打法、ハイムリック法)について実践しました。最後に心肺蘇生、AED(自動体外式除細動器)の訓練を行いました。

利用者様の嚥下機能の低下等による食事時の窒息リスクは常にあり、食事時間は周囲の音に耳を傾けながら介助を行っています。

今回、研修を受け、「完全に軌道が塞がれている時は、声は全く出ない」ということを知ることができました。音だけでなく表情や仕草などにも、より一層注意する必要があると学ぶことができました。

又、緊急時の対応については、何度行っても学びになるため、定期的に研修等が行えたら良いな、と思いました。



入所



# としこ 年越しもにぎやかに!

今年も楽しく、年末年始カラオケ大会をしました!



沢山の方が参加されステキな歌声を響かせていました♪  
ちょっとした参加賞もあり、皆様とても喜ばれていました。

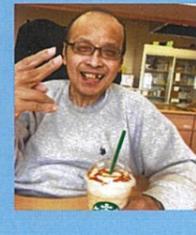
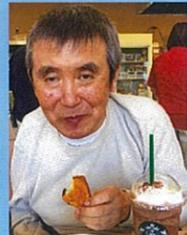


入所

# まんきつ スタバを満喫!!



日頃なかなか飲む事がないフラペチーノと  
ぐれいすさんの美味しいデザートで優雅で甘い  
ひとときを過ごしました。(\*´▽`\*)



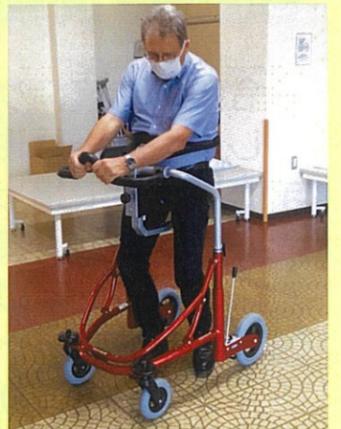
リハビリ

# たいけんかい メイウォーク体験会



リハビリ科では札幌福祉医療器様の紹介  
で、デンマークの福祉用具会社VELA（ヴェ  
ラ）社の本社の方をお招きし、歩行器  
「MEYWALK4（メイウォーク）」の体験会を  
行いました。この歩行器は、サドルに腰をか  
けたまま乗ることができ、サドルはバネの力  
で上下に動く為、膝の力が無く体重を  
支えられない方でも使える仕様となってい  
ます。

今後定期的な福祉業者様と交流し、  
新しい情報を得ていきます。



# ふゆ しょくじかい 冬の食事会!

今年の冬も海鮮丸さんに来てもらい  
お寿司を握って頂きました!  
目の前で握るところを見て喜んでいる  
利用者様もいて楽しくお食事をしていました。



入所

